

科目名称：	子育て支援	
担当者名：	五十嵐 峰子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	1
授業の目的・テーマ		
<p>保育者の行う日常の保育の基礎として、保育を通して子どもの最善の利益を護るために保育者として、全ての子どもの健やかな育ちを実現できるよう、子どもの育ちや保護者を支える保育者には何が求められているのかについて理解を深め「支援する-される」関係だけでなく、ともに育ち合う関係づくりの重要性を学ぶ。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>子育て支援は、支援にかかわる人の人間関係を尊重し、素直に向き合う姿勢や豊かな人間性が求められ、子育て中の家族を取り巻く社会状況について理解した上で、少子化の何が問題であり、どのような子育て支援が必要であるか理解できる。理解した上で、支援する者の資質や具体的な支援方法を考えることができる。</p>		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	○
DP (3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP (1)					0
幼児教育DP (2)		70%	30%		100%
幼児教育DP (3)					0
幼児教育DP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 授業内容の説明と進め方 代の子育て家庭の現状と課題(ディスカッション)	現 1年実習時の保育現場における子育て支援についてまとめる。	40分
第2回 子育て家庭を取り巻く社会の状況	現代家族の子育てと支援の必要性 子育てに関する新聞記事やネットを読む	30分
第3回 保育者の専門性と保育者に求められる倫理	事前に倫理綱領を調べておく。専門性とは何かについて考えてくる。	30分
第4回 子どもの最善の利益・子どもの人権と権利	子どもの状態の把握と養育力向上について自分の考えをまとめる。	30分
第5回 子育て支援の特性	子育てに関して新聞記事やネットを検索し理解しておく。	30分
第6回 子育て支援に関して課題を提示し、グループ・ワークを実施	グループメンバー内で各自意見交換したことをミニレポートにまとめる。	60分
第7回 子育て支援に関して課題を提示し、グループ・ワークを実施	グループでまとめたレポートを発表する準備をしてくる。	60分
第8回 子ども・子育て支援新制度の内容と展開	社会福祉の本を読み法律・制度を再度理解しておく。	30分
第9回 確認テスト・保育とソーシャルワーク	保育ソーシャルワーカーとしての関わり方についてまとめる。	20分
第10回 保育とソーシャルワークの展開	多様な支援ニーズを抱える子育て家庭への支援についてニュースを検索し読む。	30分
第11回 保育とソーシャルワークの展開	多様な支援ニーズを抱える子育てへの支援についてニュースを検索し読み理解する。	30分
第12回 児童福祉施設における子育て支援虐待について	虐待に関するニュースを検索し事例をノートに書く。	40分
第13回 児童福祉施設における子育て支援子どもの特性に合った配慮をしていくプロセス	要保護児童に関するニュースを検索し読むあるいは新聞記事を読み理解する。	30分
第14回 児童福祉施設における子育て支援保育者と保護者との協力体制	学童保育等に関するニュースを検索し読み理解しておく。	30分
第15回 小テスト・子育て支援の総まとめ	今まで学んだことを理解しておく。	20分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、100%で評価する。

定期試験は実施しない。 授業への積極的関与(参加態度)・提出物(期日厳守)30%  
・中間の確認テスト・最後の小テスト 70%を目安に評価します。

#### 課題に対するフィードバック

課題やプリントは説明後、評価して本人に返却する。

#### 教科書・参考書

教科書：保育実践に学ぶ子育て支援(ミネルヴァ書房)

参考書：子育て・子育て支援学(保育出版社)・参考書：子育て支援(萌文書林)